

議 長 休憩を解いて再開いたします。 (10時25分)

引き続き一般質問を行います。受付番号第2号、秋田谷光彦君の一般質問を許します。登壇願います。

5 番 秋 田 谷 それでは、議長のお許しをいただきまして一般質問させていただきます。受付番号第2号、質問議員、第5番 秋田谷光彦。件名、西平畑公園の設備の今後について。

要旨。西平畑公園の遊具など、設備について質問をさせていただきます。

太陽のすべり台はブルーシートをかけられ、桜まつりの際には御来園の皆様にも、景観的にも誠に残念な状況でした。ふるさと鉄道も動力の故障や脱線など、設備の老朽化が進み、設置年数からも一大改修が必要かと思われまます。先人が松田町の観光立町の出発点の一つとして始められた事業と私は理解しておりますが、先人の思いを継承し、現在進行中の駅前再開発とともに、観光立町としての松田町を創造していくべきだと考えます。

そこで質問させていただきます。

(1) ふるさと鉄道の現状と今後について。

(2) 太陽のすべり台の改修と今後について。

よろしく願いいたします。

町 長 秋田谷議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。

まず、西平畑公園は昭和63年に当時の建設省から生涯学習村のモデル地区の指定を受け、生涯学習村構想から始まり、その後、松田山全山公園化事業として西平畑公園の各施設を整備したもので、平成5年7月に創造と文化の拠点として子どもの館を開館、令和6年6月に自然館を開館いたしております。翌年の…あ、平成ですね。すみません。平成7年3月に太陽のすべり台、同年10月に蒸気機関車のミニSLであるふるさと鉄道が全面開通いたしております。さらに、平成8年4月には、電気動力の小田急ミニロマンスカーの車両の導入をされております。

ふるさと鉄道の設備に当たりましては、坂道と延長1,100メートルという立地を活用するため、乗っていただく方の安全を第一に考え、スイッチバックや

ループ線を取り入れ、ミニSLも馬力を大きくするために実物の6分の1の大きさとしております。また並行して、平成7年度から農業環境総合整備事業として、国・県の補助を受け、ハーブ園の整備を開始し、平成8年、9年度にはハーブガーデンの中心施設としてハーブ館を建設しております。

このように、全山公園化を目指し整備した施設は、近隣施設や寄地区の施設との連携を図りつつ、観光拠点として整備した公園内の施設とともに、都市農園交流事業の推進を基調に、農業環境の創出など、松田町の活性化を図るためのものでもございました。

さて、議員の御質問の1点目のふるさと鉄道の現状について申し上げます。現在、線路の不備を修繕しており、本年7月をめどに完了させた後に、安全が確認できれば運行を再開する予定でございます。ふるさと鉄道を走る車両でございますが、蒸気機関車ミニSLが1台、ロマンスカータイプが1台、ロケット号タイプが1台の計3台を保有しております。いずれの車両も導入から約30年近くなるため、修繕をする際の部品の調達が安易にできず、直るまでに時間を要している状況でもございます。今後ふるさと鉄道ファンの皆様方のためにも、引き続きメンテナンスを行いながら運行を継続してまいりたいと考えております。

次に2点目の太陽のすべり台についてでございます。右側がステンレス滑り台、左側がローラー滑り台となっており、特に桜まつり期間中では桜のトンネルをくぐることができるなど、大変人気のある施設でありましたが、設置後29年を経過し、老朽化に伴い、令和5年4月の業者点検において、左側のローラー滑り台のローラーを取り替える必要性を指摘されております。滑り台を改修する場合には、現在ローラーの取替え対応ができるメーカーがなくなっており、在庫や代替品もない状況であるため、改修するには多額の費用がかかると点検業者から伺っております。西平畑公園及び松田山ハーブガーデンの指定管理者からは、来園される子供たちのために、太陽のすべり台で遊んでいただきたく、改修したいとの意向をいただいております。町といたしましては、指定管理者の意向も尊重した中で、安全性などの課題の解消と、改修費用の確保を

見込めれば指定管理者と共同で修繕したいと考えておりますが、課題の解決ができない場合は、残念ですが撤去も考えなければなりません。

ところで、現在指定管理者ならではの民間活力を全力で発揮され、町の負担がない中でハーブガーデンの花の植え替えや園内歩道をリニューアルされております。町といたしましても、西平畑公園は先人の皆様方の思いが詰まった公園でもありますし、観光立町を目指す当町のシンボリック的存在でもあるとともに、町民の憩いの場であることを再認識し、ボランティアなどの多くの方々に参画していただくことで、みんなで盛り上がる公園となるよう、町民、指定管理者とともに取り組んでまいりたいと考えていますので、引き続き御理解、御協力のほど、何とぞよろしくお願いを申し上げます。以上です。

5 番 秋 田 谷 どうもありがとうございました。ふるさと鉄道は修繕ということでございまして、もう走らなくなるのかなと思って、本当に心配しておりました。また子供たちが乗るように改修・改善をしていただきたいと思いますけれども、ふるさと鉄道はおよそ30年たっておりますよね。利使用年数からいって、修理・修繕ではなくですね、新しい車両を買い替えたらいかがと思います。千葉県の上野市にある蓮沼海浜公園に、日本一距離が長い、2.1キロだそうですけれども、そこでSLや新幹線などの新型ミニ車両が活躍しているそうですが、そちらのほうを参考にして、新しい動力車両を購入されたらいかがでしょうか。修理・修繕も相当な金額がかかると思いますので、ここで思い切って新しい車両を買い替えたらいかがでしょうかと思いますが、お考えをお聞きしたいと思います。

観 光 経 済 課 長 松田町のふるさと鉄道は、現在設置している地形、坂道と延長に合わせて整備をいたしたものでございます。このため、車両の買い替えを行うと現在の線路に合う車両としなければなりません。また、買い替える車両に合わせて線路の敷き直し、場合によっては必要となる場合がございます。

先ほどの御提案の千葉県の類似施設でございますが、私、調べました。通常公園内の平地で走行するために製造した車両でございました。ということで、松田町と地形が違うようなところでございますが、聞き取りをした結果、動力の頭の部分で300万円、客車5両で500万円から600万円かかったということで

ございました。ただし、聞き取りした施設は、車両は松田町が9インチに対しまして、そこの千葉県の類似施設は7.5インチといったものでございました。また客車は、松田町は動力、頭の部分ですね、モーターを積んでいるのに対しまして、全て松田町、客車にも動力を積んでるんですが、千葉県の類似施設は平地ということでございまして、動力は頭の部分だけ積んでるというものでございました。したがって、松田町の条件で車両を購入する場合は類似施設よりも高額になると考えられます。様々…これまで故障とかしておりましたが、そういった状況も鑑みながら今後は考えていきたいと思っております。以上です。

5 番 秋 田 谷 ありがとうございます。大変規格の問題がありますので、なかなか難しい問題があると思います。

また、滑り台。滑り台のほうも、いろいろ私も業者とかいろいろ話を聞いて調べてみましたけれども、やっぱり安全の面、あるいは資金の面からいっても、大変なことは私も理解しているつもりでございまして。何とか修理をいたしまして、子供たちが楽しめるような状態に戻してもらえればいいかなとは思いますが、なかなか難しいことが控えておるといことは理解しております。

しかし、遊具のない公園はあまりにも味気ないという限りで、昨今の税收減少で限られた予算の中ではございますけれども、それほど大がかりな遊具ではなく、例えばシーソーだとかジャングルジムなど、比較的安価な遊具をあちこちに設置・配置するというのも一案かなと私は考えております。

また、先ほどから資金調達のこと、予算のこともありますが、私もちよっと調べてみたら、今ふるさと納税型クラウドファンディングというのがあります。これはガバメントクラウドファンディングというそうなんです。私も横文字には弱いので、ちょっとよく分かりませんが、これはふるさと納税と違っていて、返礼品は必要なく、活動報告や感謝メール、感謝の手紙などが納税者のリターンと聞いております。これらを利用するのもいいかと思っております。いかがでしょうか。御感想をお聞かせくださいませ。

観 光 経 済 課 長 御提案のとおり、ガバメントクラウドファンディング、松田小学校建設の際

もそういったものを利用して資金を調達というか、御寄附を頂いたものもございます。大きな遊具でございます。また、御提案のありました、子供が楽しんで遊べる小さな遊具、シーソーでもいいということでございますので、そういった公園づくりに対しまして、そういった寄附金も考えてまいりたいと思っております。

5 番 秋 田 谷 ぜひともそういう公園にさせていただくようお願いをいたします。ありがとうございます。

それで、最後というか、いまひとつ西平畑公園で私がとても心配していることがございまして、私もいろんな、菜の花というか、いろいろな問題で西平畑公園に上る回数が多いんですけれども、1年以上たつんでしょうか、ウッドデッキのことなんですけれども、ハーブ館の真下にですね、ウッドデッキがいつの間にかできておまして、何に使うのかなということで見ておりました。しかし、そのうちガードとか手すりがつくのかなと思っておりましたら、先日行ったらまだガードも手すりもついておりません。この間、よく事故が起きなかったのかな、起きなくてよかったなど、胸をなで下ろしていたところですが。デッキの前には使用禁止などの張り紙や、簡単なコーンでプラスチックの鎖を張ってありますが、低学年や幼児には理解できるのかなと、できないのかなという感じで私は見ております。また、町外からも幼稚園児や保育園児、二、三十人のグループが頻繁に上ってくるのが、私もちょっと見かけておまして、親や先生、保育士などが目を離したすきに上ることもありかねないと私は心配しております。デッキには手すりやガードを作るべきではないのかなと。落下したら大人でも命に関わるかなというぐらい高い、危険な高さで、本当に心配しております。早急に検証されることをお願いしたいんですが、その点についてお聞きいたします。

観 光 経 済 課 長 まず、何に使うのか、何の目的かということでございましたのでお答えします。令和4年度に西平畑公園の観光資源と地域的な優位性を生かしまして、公園の…公園で通年利用による活性化を図るため、キャンプに、キャンプということで、新たな稼げるコンテンツとして検証し、プラン、造成、販売等を含め、

補助金を活用して実証事業を展開したものでございました。その際整備したものでございました。御指摘のとおり、手すりがないデッキでございます。危険な状況でございます。手すりを設置しますと転落防止のためにもなりますし、安全性が向上しますので、対策を考えてまいりたいと思っています。以上です。

5 番 秋 田 谷 ありがとうございます。なるべく早く手だてをしていただきたいと思いますし、やっぱり公園は安心・安全が原点だと思いますので、よろしく願いいたします。

最後に、来園者のために、子供たちの楽しみを奪わないように、簡単な遊具でもね、いろいろつけていただいて、楽しい公園にさせていただくような方向に持って行っていただくように、よろしく願いいたしまして、ちょっと早いようですけども、質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

議 長 以上で受付番号第2号、秋田谷光彦君の一般質問を終わりにします。少しお待ちください。